

質問書に対する回答10

件名) 首都圏中央連絡自動車道 横芝光舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	集水ます	<p>特記仕様書P29～30において、集水ますの種別の記載があります。 タイプごとに標準コンクリート量 (m3) の記載がありますが、これは①設計図の表示の細別に関わらず、記載の標準コンクリート量 (m3) を用いて計上されていると考えてよろしいでしょうか。 それとも、②タイプの中の細別 (集水ますの形状) ごとに積上げて計上されているのでしょうか。 ①の場合、構造物掘削・埋戻し・残土処分の土量の計上方法をご教示願います。 ②の場合、詳細図に記載がある場合は詳細図の材料表の土量で、記載が無い場合は用排水構造物標準設計図集に記載の土量にて計上されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>②です。 詳細図に記載がある場合は詳細図の材料表の土量で計上、記載が無い場合は用排水構造物標準設計図集に記載の土量に舗装厚分を控除して計上しております。</p>
2	特記仕様書P31 26-5 監視員通路工	<p>監視員通路工-監査廊Aのコンクリート打設について、当初積算としては、コンクリート工で①コンクリートポンプ車使用、②無筋構造物、③コンクリート1回あたりの打設量は、A-1～A-4ごとに1回ずつで計4回としてお考えでしょうか。 また、型わく工Dについては④均しコンクリート、⑤用排水構造物のどちらでお考えでしょうか。 また、中詰工は⑥構造物裏込め工、⑦ショベルダンプ施工、⑧土量変化率なし地山検測⑨積算基準による裏込めA2、⑩仕上り厚さ15cm (上部路床並)にてお考えでしょうか。</p>	<p>コンクリート工については、打設機械なし、無筋構造物、特小規模の打設を、型わく工Dについては、均しコンクリート相当を、中詰工については、客土掘削 土砂Aを想定しております。</p>